

成田市教育委員会会議定例会会議録【会議概要】

平成22年4月教育委員会会議：定例会

期日 平成22年4月22日（木） 開会 午後3時00分

閉会 午後5時20分

会場 成田市役所 503会議室（5階）

出席委員

委員長	荒井 清	委員長職務代理者	小川 信子
委員	山口 恵子	委員	秋山 皓一
教育長	佐藤 玉江		

出席職員

教育長	佐藤 玉江(再掲)	教育総務部長	関川 義雄
生涯学習部長	吉田 昭二	教育総務課長	坂本 公男
学校施設課長	堀越 慎一	学務課長	小館 修
教育指導課長	五十嵐 正憲	学校給食センター所長	古関 修
生涯学習課長	遠藤 英男	生涯スポーツ課長	檜垣 好克
公民館長	須藤 清子	図書館長	大木 禎夫
生涯学習課主幹	堀越 美好	教育総務課主幹（書記）	秋山 雅和

傍聴人：0人

【会議概要】

1. 委員長開会宣言

2. 教育長報告

① 主催事業

- ・ 4月1日 午前中に市の辞令交付式。午後に教育委員会辞令交付式。人事異動があり、それぞれの思いはあると思うが、新しい職場で頑張りたいと伝えた。
- ・ 4月6日～7日 市内各小中学校で入学式が行われ、教育委員をはじめ事務局職員が手分けをして参加。自分は6日は中郷小学校入学式に出席。3名の新入生で、中郷小学校としては最後の入学式でもあり、統合もあるので思い出に残る学校生活を過ごしたいと思った。7日は西中学校入学式に出席。283名という大変な数でもあり、障害のあるお子さんもいて、配慮

のされた式典でもあった。このことについては、今後の対応をしっかりと考えていかなければならない。

- ・ 4月7日 生涯大学院副学長の辞令交付。アドバイザーとしての塚本倫正氏に辞令を交付。
- ・ 4月9日 平成22年度成田市教育委員会施策説明会校長部門
- ・ 4月13日 平成22年度成田市教育委員会施策説明会教頭・事務職員部門を行った。校長部門には教育委員も出席。今年の教育委員会としての施策の説明を行い、教頭・事務職員部門では細部の取扱い等を説明。
- ・ 4月22日 平成22年度成田市幼児期・小中学校家庭教育学級主事会議・リーダー研修会。第1回目ということで、大会議室が一杯になるほどの人数で、この一年の家庭教育学級が実りあるものになるようにと話させていただいた。

② その他

- ・ 3月24日～31日 13人の中学生を連れて、友好親善訪問団の団長としてサンブルーノ市を訪問。7月には姉妹都市締結20周年記念で、副市長、シティーマネージャー等と中学生の訪問団が来成予定。8月には市民訪問団が行く予定。10周年の時と同じように、双方で記念碑のようなものの設置を提案。中学校を視察。アメリカでは学校は市立ではなく郡の管轄なので日本とは条件も異なるが、サンブルーノ市では20名のクラス編成で、障害のあるお子さんも同じところで学んでいるということだった。言語療法士や作業療法士、心理療法士等も常駐しているとこの事のように、特別支援学校が日本のように別の場所にあるという事はない様だった。教育の現状等について、もっと時間をかけて話をしてきたかったが、通訳も教育の専門家ではないので、込み入った話になると難しい面もあり、時間的な制約もあって残念だった。
- ・ 4月1日 午前中、大会議室で新規採用職員の入所式に参加。教育委員会には4名の新規採用職員の配属があったので、昼休みに辞令を交付。新しい視点で貢献できるよう、そのような気持ちで仕事に望んで欲しいと話した。
- ・ 4月3日 第2回女子サッカーフェスティバル大会が開催された。昨年が新しいサッカー場での第1回大会だったわけだが、今年も市の内外からの参加をいただき、なでしこジャパンの活躍等もあるので、女子としても頑張ってプレーをと話させていただいた。
- ・ 4月6日 ゆめ半島千葉国体成田市実行委員会監査を行った。
- ・ 4月8日 千葉県立富里特別支援学校第23回入学式に参加した。小学部、中等部、高等部の入学式があり、高等部の入学者数はかなりな人数で受け入れが大変であろう事が思われた。小学部はなれない雰囲気のために、座ってられない子どもも見られたが、校長の話も長くて難しかったことが気になった。しかし、受け入れる側の気持ちの伝わる式であった。
- ・ 4月10日 成田太鼓祭を参観。
- ・ 4月13日 平成22年度市町村教育委員会教育長会議に参加。本市でも行っている各学校への施策説明会の県版のようなもの。今年はスポーツに力を入れているとのこと。
- ・ 4月14日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第1回幹事会に幹事として参加。4月28日

の総会の実施について、また、役員について協議。会長が松戸市から浦安市へ移行したことに伴い、今後の研修等は浦安市で行われることになる。

- ・ 4月16日 平成22年度成田市子ども会連絡会総会に参加。市長も出席され、議長の話の中でも出てきたが、子ども会が減ってしまっている。地域で子どもを育てる核になる組織であるから、連絡会としても育成に取り組んでいただきたいと思います。
- ・ 4月16日 印旛郡市地方教育委員会連絡協議会第1回定例常任委員会に参加。総会の運営についての協議を行った。事務局の分担としては佐倉市が事務局を担当することとなった。
- ・ 4月16日 第1回印旛地区教育長会議に参加。会長は印西市が、副会長は白井市となり、引き続き佐倉市が事務局を務めてくれることとなった。印西市・本埜村・印旛村の合併に伴い、会則の変更があった。教科書の選定委員会について、採択の方法についても議論があった。例えば、全体で25票あって、昨年までは除外法で使うか否かだけで良かったが、今年はどれを採択するかを決めなければいけない中で、10票、5票、5票、5票となった時に、いずれも過半数に達していない場合の選定方法はどのように行うか等についての問題提起もあった。決選投票をやれば良いというものでもないことから、今後検討を行う。
- ・ 4月17日 サンプルーノ市友好親善訪問団事後研修会に参加。成果の確認と反省とをまとめた。子ども達の中には、思うように英語が出てこなくて話せなかったりということもあったり、ホームステイをした際に家庭によっては中国人の家庭だったり、お母さんが日本語が話せて英語を使わずに済んでしまったような事例もあったようだ。しかしながら、参加者全員が得たものも多く、感動的な訪問であった様だ。

《 教育長報告についての主な質疑 》

議長：小・中学校の入学式に各々参加してもらったので、感想等の報告をして欲しい。

委員：東小学校入学式に出席。入学者は4名。男子1名、女子3名。全体で21名。去年は全体で26名だが新入生は1名だった。上級生は下級生の面倒を良く見てくれそうであった。声も大きく出ていて、家庭的な雰囲気ではあったが、子どもの集団活動の環境として家庭的なことがいかなものかという感じを受けた。

玉造中学校は32名だったと思うが、男子に元気が無かった。歌のときも声が出ていなかった。卒業式も、入学式も保護者（お母さん）が晴れ着を着ているにもかかわらず、ジーンズの時のような座り方の方がいらっしゃって、気になった。

委員：高岡小学校入学式に出席。入学生7名。家庭的な感じであった。

成田中学校入学式に出席。150名ほどの入学生。伝統校なので厳かだったが、全体におとなしい感じだった。遠山中に行ったときは上級生が先生紹介でも拍手をしたり声を出す子がいたりで元気があったけれど。私自身はリフレッシュされて良かった。

委員：豊住小学校入学式に出席。新入生は11名。男子8名、女子3名の小規模校。校長先生は新任で緊張の中での話だったけれど、大きな声であいさつをすること、夢に向かって頑張りたいという話があった。

式後の校長室の談話では、中学校の跡地利用について様々な意見があった。グラウンドは総合運動施設ということでしょうけれども、建物は空調設備もあるのもったいない、という意見であった。事務局で活用についてよく検討して欲しい。

中台中学校入学式に出席。校長の話は、全てに前向きに取り組めるような生徒になって欲しいというような話であった。式のとときに保護者席がざわついている場面があり、教養ある方の多く住む地域と聞いていたので、少しがっかりした面もあった。

その後、地元からの要請があり津富浦小学校の歓送迎会に参加させてもらった。

先生が落ち着いて授業が出来るような環境を作って欲しい。また、先生への不満や悪口などは生徒の前で絶対言わないようにと挨拶させていただいた。

委員：久住第二小学校では、今回が最後の入学式ですという内容が、校長、PTA会長のあいさつ、来賓控え室での話しの中など皆の話の中に出てきた。統合の話で持ちきりという入学式だった。新入生は女子2人だったが、寂しいとか、来年はどうなるのかという雰囲気は特別には感じられなかった。新入生はやはり新入生らしい雰囲気があって良かった。校長の式辞では、手話が必要な状況ではなかったのだが、4つの約束をしましょうという挨拶を手話を交えて話しかけていた。子どもたちは手話を使っていることで校長の話をよく理解していたようだ。感心して帰ってきた。

議長：入学式についても、各学校ですばらしい入学式が行われたものと判断して良いと考える。教育長報告の中では、教科書採択の話があったが、これは第3号、第4号議案の中でお願ひすることにする。

小館副参事：入学式に際しての皆様のご協力に感謝する。昨年の児童・生徒数は9,973名、今年度は10,064名、前年比+91名と若干の増となっている。

3. 議 事

議案第1号から議案第7号までについて、人事案件であるため、非公開の議決。

(これより非公開とする)

議案第1号 成田市学区審議会委員の委嘱について

《 議決結果 》

承 認

議案第2号 成田市学校評議員の委嘱について

《 議決結果 》

承 認

議案第 3 号 平成 2 2 年度教科用図書印旛採択地区協議会委員の選出について

《 議決結果 》

承 認

議案第 4 号 平成 2 2 年度教科用図書印旛採択地区協議会専門調査員会専門調査員の推薦について

《 議決結果 》

承 認

第 5 号 学校体育施設管理指導員の委嘱について

《 議決結果 》

承 認

第 6 号 成田市視聴覚ライブラリー運営委員会委員の委嘱について

《 議決結果 》

承 認

議案第 7 号 成田市立図書館協議会委員の委嘱について

《 議決結果 》

承 認

(これで非公開を終る)

4. 報告事項

① 報告第 1 号 学校適正配置に係る久住第二小学校の統廃合について

坂本教育総務課長 報告資料に基づき説明

(要旨)

久住第二小学校区では、保護者・地区住民に対し平成 2 0 年に 5 回、平成 2 1 年度に 7 回、区長会の役員会とも数回の打ち合わせを行ってきた。3 月 2 6 日に区長会長、小学校 PTA 連絡協議会代表、久住第一小 PTA 会長、久住第二小 PTA 会長の連名で統合を受け入れるとの回答があったので報告するもの。統合の時期は平成 2 3 年 4 月とし、名称は久住小学校とする。その他、校歌・校章等検討を要するが、両校交流等を通じて円満な統合を進めたい。

《 報告第1号についての主な質疑 》

議長：報告の内容に鑑み、このタイトルでよいか。

坂本課長：「久住第一小学校と第二小学校との統合」に変えさせていただく。

委員：跡地利用の問題ということになると、校舎は取り壊すのか。再活用の方策を考えて欲しい。特別支援学校高等部の修了者は多くいて、進路としての受け入れ先として、福祉作業所等を考えてみてはいかがかと思う。

坂本課長：校舎も含めての跡地利用と考えている。庁内に福祉部長も含めて検討委員会を設け、地元の意見要望等も含めて利用策を検討する。

議長：地元からの文書が要望となっているが、要望をそのまま受け入れる形でよいか。

坂本課長：詳細については今後の協議となるが、話し合いを進めてきた中での要望なので基本的には合意が出来ている。校舎については、増築と大規模改造で合意が得られた。

委員：地区からの要望だとすると、「～とする」と断定の形なのはどうか。「～してほしい」等とする依頼形とするのが要望だと思うが。この形だと、今後の各地域での交渉の中で、要望すれば何でもやってもらえるという意識をもたれてしまうことを恐れる。

関川教育総務部長：要望と表現され、現実には若干の要望も入っているが、基本的には統合の合意案だ。こちらとしては何でも受け入れる形で交渉してきたのではなく、あくまでも子どもたちの教育環境を優先的に考えて可否を判断し、決めてきた。今後ともその姿勢で臨みたいと思う。教育委員会として地区の皆さんに出した文書もあり、その中では、統合の時期はいつにするとか、名称はどうするとかについて、委員会としての考えをお知らせしている。

② 報告第2号 成田市青少年問題協議会委員の委嘱について

報告第2号について、人事案件であるため、非公開の議決。

(非公開として、担当課長より報告資料に基づき説明)

③ 報告第3号 (仮称) 大栄野球場 施設命名権者の選定について

桧垣生涯スポーツ課長 報告資料に基づき説明

(要旨)

報告第3号 (仮称)大栄野球場 施設命名権者の選定について決定したので、報告する。

応募状況として、平山建設株式会社及び三和総業株式会社の2社。応募金額として年間200万円。期間としては、今年の9月から5年で計1千万円。募集要項の中で名称は野球場をイメージできるものということで、「スタジアム」をいれるとの事とし、平山建設は「ナスパスタジアム」。三和総業は「三和総業スカイスタジアム」という名称で、条件は満たしている。

4月14日に(仮称)大栄野球場施設命名権者選定委員会を開催。応募金額・期間・施設名、地域貢献度等から応募の双方とも同等と判断。双方に同意を得て4月21日に抽選会を実施。

事前に両者に説明を行ったうえで、昨日午後1時半から抽選。申込順で、平山建設から予備抽選を行い、第1回目は平山建設が第1位。本抽選の結果は三和総業が優先交渉候補者に決定。

同日、選定委員会を開催し、結果を承認。今後看板の設置等について検討していく。

委員：平山建設は分かるが、三和総業とはどのような会社か。

檜垣課長：設備会社。当初は環境衛生などを扱う会社だったが、現在はビルのメンテナンス等も扱う会社。

議長：中台の運動場の施設命名権はいくらか。

檜垣課長：陸上競技場、野球場、体育館など5施設で700万円。

④ 報告第4号 登録有形文化財(建造物)について

遠藤生涯学習課長 報告資料に基づき説明

(要旨)

国の文化財登録原簿に登録された登録有形文化財ということで、仲町の「一粒丸三橋薬局」の店舗とその裏の土蔵が、平成21年12月11日の国の文化審議会文化財分科会の答申を受け、平成22年1月15日付けで文化財登録原簿に登録された。2月3日付の官報で告示。

成田市では、伊能の「長興院山門」、久井崎の「石橋家住宅門」「石橋家住宅南の蔵」「石橋家住宅東の蔵」「石橋家住宅土蔵」、仲町の「大野屋旅館」について、7棟目、8棟目の登録となる。

名称は、一棟は「一粒丸三橋薬局店舗」、明治時代前期の建物といわれている。

他の一棟は「一粒丸三橋薬局土蔵」、江戸時代末期の建物といわれている。

構造等については、店舗が土蔵造2階建て、外壁黒漆喰仕上げで63㎡、土蔵が土蔵造2階建て、瓦葺の42㎡。所在地は仲町363番地。

登録有形文化財は平成6年に制度が出来て、50年をこえる歴史的建造物で一定の評価がなされたもので、本人からの登録申請となっている。

委員：この年代の建物は他にはないか。

吉田生涯学習部長：条件を満たす建物は他にもあり、今後登録を希望される方もあると思われる。

5. その他

古関学校給食センター所長：給食センター運営委員については今回提案できなかったもので、5月の会議に提案したいのでご了承いただきたい。

6. 委員長閉会宣言